

# 頭陀袋 (5)

発行 中山かんのん

恩林寺

中山中学下、電話三四一―二四五

福田・恩田・福分

福田さんとか恩田さんとかいう苗字の方がいらつしやいますね。そのかたがたのご先祖はきつと仏教に熱心な信者だったに違いありません。(福田)は仏教読みでフクデンと読み、福徳を生ずる田を意味します。供養すれば必ず福徳が得られるということ。福田と呼ばれる者ははじめ仏弟子に限られておりましたが、後、拡大解釈されて三福田が数えられるようになりました。

すなわち①世に慕われる仏や僧を敬田、②親や先生など恩に報いるべきものを恩田、③貧しい者や病人を養わなければならぬものを悲田という三種の福田がとかれるようになりました。悲田については聖徳太子が四天王寺に設けられた悲田院や、光明皇后が平城京に設けられた悲田院がよく知られています。

いつの世でも敬田。恩田、悲田の三福田は供養されなければなりませんしそのことで社会が社会らしく成り立つのではないでしょうか。また坊さんの袈裟の別名を福田衣(ふくでんね)というのはお袈裟は仏、仏弟子がいたただくありがたい衣というほかにその條

おてら

出に行こう。

おしようさんと

ともだち

友達になろう。



相が田んぼの畦に似ているからであります。お袈裟自体に無量の功德が備わっていることはもちろんです。これから福田をよく供養したことによる福徳の分け前を(福分)といいます。

前世で行った善業の果報としてこの世で受ける功德が福分とわかっていいでしょう。

この世でうける福分の少ない人はぜひ、この世において善を積み、来世においてたくさん福分を得られるようにここがけたいものです。

前世で積んだ善業がけて無駄ではなかったように今世でつむ善も来世に及ぶことを思い、毎日精進したいものです。

そしてくれぐれも悪業を来世に持ち越すことのないように心したいものです。

かんのん霊場めぐり

今年には壇信徒さまの中に飛驒三十三かんのん霊場めぐりをしたいとのご希望がありましたら団参を計画したいと考えております。

ご希望がありましたらお寺までお申し出ください。